

I. 本市の概要

1. 本市の沿革

本市は、全国有数の弥生時代の集落遺跡である池上・曾根遺跡にみられるように遠い昔から人々が生活を営んでいたと考えられます。

奈良時代には、「和泉の国」の政治を司る国府が、現在の府中町に置かれ、泉州地域の政治、経済、文化の中心地としての役割を担ってきました。

中世から近世にかけては、平地部や河川流域を中心に耕地の開墾が進められ、豊かな農業地帯として稲作や綿花などの栽培が行われてきました。

明治時代に入ると、綿花栽培の発展に伴い繊維産業や人造真珠、ガラス細工などの産業も活発になり、自立性の高い都市として発展してきました。

このような歴史的背景の中で、本市は昭和31年9月に当時の和泉町と北池田村、南池田村、北松尾村、南松尾村、横山村、南横山村の1町6か村が合併して、人口約5万人の市として第一歩を踏み出し、昭和35年8月に八坂町と信太村を編入して、現在の市域を形成しました。

現在は人口約18万3千人の都市に成長し、和泉市新庁舎と和泉市立総合医療センターがそれぞれ建設されるなど、泉州地域の中核都市として相応しい、安心・安全で住み良いまちづくりが進められています。

2. 位置・地勢

本市は、大阪府南部の泉州地域に位置し、東西6.9km、南北18.8kmと細長く、面積84.98km²、南は和泉山脈和歌山県境、北は堺市、高石市に西は泉大津市、岸和田市、忠岡町に、東は河内長野市に接しています。

地形は南高北低で、南部には和泉山脈が連なり、中部・北部は丘陵、平地が広がり（海拔9.2m～885.7m）、南部から北部に向かって槇尾川、松尾川が流れています。